

## 福島県立医科大学 学術機関リポジトリ



Title	耳鼻咽喉科学講座( 論文・著書・発表等 )
Author(s)	
Citation	福島県立医科大学業績集. 30: 265-273
Issue Date	2020-03-19
URL	<a href="http://ir.fmu.ac.jp/dspace/handle/123456789/1179">http://ir.fmu.ac.jp/dspace/handle/123456789/1179</a>
Rights	©2020 福島県立医科大学
DOI	
Text Version	publisher

This document is downloaded at: 2023-05-05T13:28:12Z

# 耳鼻咽喉科学講座

## 論文

### 〔原 著〕

Murono S, Yoshida H, Kobayashi T, Kawase T, Kikuchi D, Suzuki T, Nakanishi Y, Endo K, Kondo S, Wakisaka N, Yoshizaki T. Multifocal human papillomavirus detection in palatine and pharyngeal tonsils. *Acta Oto-laryngologica*. 201805; 138(5):483-486.

Saijoh S, Matsuzuka T, Sato H, Suzuki M, Ikeda M, Suzuki R, Nakaegawa Y, Omori K. Long-term outcomes of alternating chemoradiotherapy in patients with advanced nasopharyngeal cancer: a single-centre experience over the last decade. *Acta Otorhinolaryngologica Italica*. 201804; 38(2):103-108.

Matsuzuka T, Suzuki M, Ikeda M, Sato K, Fujimoto J, Hosaka R, Tanji Y, Soeda S, Murono S. A case grafted with polyglycolic acid sheets and fibrin glue for protection after temporary resection of a metastatic cervical skin tumor. *Auris, Nasus, Larynx*. 201804; 45(2):384-387.

Ohira T, Takahashi H, Yasumura S, Ohtsuru A, Midorikawa S, Suzuki S, Matsuzuka T, Shimura H, Ishikawa T, Sakai A, Yamashita S, Tanigawa K, Ohto H, Kamiya K, Suzuki S; Fukushima Health Management Survey Group. Associations Between Childhood Thyroid Cancer and External Radiation Dose After the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident. *Epidemiology*. 201807; 29(4):e32-e34.

Midorikawa S, Ohtsuru A, Murakami M, Takahashi H, Suzuki S, Matsuzuka T, Shimura H, Ohira T, Suzuki SI, Yasumura S, Yamashita S, Ohto H, Tanigawa K, Kamiya K. Comparative analysis of the growth pattern of thyroid cancer in young patients screened by ultrasonography in Japan after a nuclear accident: The Fukushima Health Management Survey. *JAMA Otolaryngology - Head & Neck Surgery*. 201801; 144(1):57-63.

Shimizu M, Matsuzuka T, Matsumi F, Ogawa H, Murono S. Change of Tinnitus with Xenon Phototherapy of the Stellate Ganglion. *Photomedicine and Laser Surgery*. 201808; 36(9):468-471.

清水雅子, 松見文晶, 室野重之. 末梢性めまい疑いにて耳鼻咽喉科を受診した危険なめまい症例の検討. *Equilibrium Research*. 201808; 77(4):253-259.

菊地大介, 今泉光雅, 大槻好史, 室野重之. 中耳真珠腫進展度と鼓索神経損傷および術前 CT 評価との関連について. *Otology Japan*. 201812; 28(5):663-667.

大槻好史, 今泉光雅, 菊地大介, 室野重之. 鼓膜穿孔に対する評価基準作成の試み 適切な術式選択のために. *Otology Japan*. 201812; 28(5):675-680.

谷亜希子, 川瀬友貴, 仲江川雄太, 多田靖宏. 気管孔レティナ使用者の治療経過. *日本気管食道科学会会報*. 201802; 69(1):7-12.

## 〔総説等〕

松塚 崇. <特集 災害時における耳鼻咽喉科の対応>小児の甲状腺検査. ENTONI. 201812; (226):61-66.

鈴木聡明. <特集 災害時における耳鼻咽喉科の対応>災害時における耳鼻咽喉科の対応―開業医の立場から―. ENTONI. 201812; (226):78-81.

室野重之. <特集 基本診察・処置・手術の ABC>《咽喉頭・頭頸部領域》咽頭・喉頭病変の麻酔と生検. 耳鼻咽喉科・頭頸部外科. 201804; 90(4):350-352.

室野重之. <特集 手術に必要な画像診断―喉頭・気管編>気管切開術. JOHNS. 201806; 34(6):744-748.

鈴木聡明. <連載 外来診療における私の処置>耳の処置 3 耳処置と鼓室処置. JOHNS. 201808; 34(8):1053-1055.

室野重之. <特集 頸部腫瘍を熟知する>【疾患の概要と治療法―頸部腫瘍の治療に取り組む】悪性リンパ腫. JOHNS. 201812; 34(12):1693-1697.

室野重之. <手術手技セミナー4>喉頭乳頭腫に対する手術. 頭頸部外科. 2018; 28(3):255-258.

## 〔症例報告〕

松見文晶. 異なる背景・臨床像の汎発性帯状疱疹を伴った Hunt 症候群 2 例. FACIAL NERVE RESEARCH JAPAN. 2018; 38:164-165.

## 過年業績

Ono Y, Kunii M, Miura T, Shinohara K. “Cannot ventilate, cannot intubate” situation after penetration of the tongue root through to the epipharynx by a surfboard: a case report. Journal of Medical Case Reports. 201705; 11(1):121.

## 〔その他〕

馬場陽子. 福島県における補聴器についての支援. ENTONI. 201812; (226):74.

馬場陽子. 福島県における人工内耳についての支援. ENTONI. 201812; (226):77.

山田奈保子, 原田 綾, 鈴木雪恵, 黒田令子, 今泉光雅. 人工内耳装用児に対する医療と教育機関の連携について―保育所等訪問支援の効果―. 音声言語医学. 201801; 59(1):65.

多田靖宏, 川瀬友貴, 仲江川雄太, 今泉光雅, 谷亜希子, 柳川明弘. 局所麻酔下喉頭内視鏡手術における口腔・咽喉頭麻酔法. 音声言語医学. 201801; 59(1):103.

大谷 巖. <連載 私のこの1冊>Pathology of the Ear. JOHNS. 201812; 34(12):1741-1742.

松塚 崇. 用語解説 梅核気. 日本気管食道科学会会報. 201808; 69(4):268-269.

松塚 崇. がん治療における分子標的薬 その1. 福島緩和ケアネット会報. 201804; (24):2-3.

松塚 崇. 当院緩和ケアセンターと最近の免疫療法・分子標的薬. 福島緩和ケアネット会報. 201810; (25):2-3.

室野重之. <耳の日>耳を大切に. 福島民報（新聞）. 20180303.

室野重之. <耳の日>耳を大切に. 福島民友（新聞）. 20180303.

## 著 書・訳 書

室野重之. <25.耳鼻咽喉科疾患>嚥下障害. In: 福井次矢, 高木 誠, 小室一成 総編集. 今日の治療指針 2018 年版. 東京: 医学書院; 201801. p.1559-1560.

室野重之. <耳鼻咽喉科学教室史>福島県立医科大学医学部耳鼻咽喉科学講座. In: 日本耳鼻咽喉科学会 125 周年記念誌編集委員会 編. 日本耳鼻咽喉科学会 125 周年記念誌. 東京: 一般社団法人日本耳鼻咽喉科学会; 201811. p.63-66.

## 研究発表等

### 〔研究発表〕

Imaizumi M, Suzuki T, Ikeda M, Omori K. Development of aspiration screening system for the elderly living in facilities: Novel approach for the detection of swallowing disorder and risk factors in aging societies. 98th Annual Meeting of the American Broncho-Esophagological Association, COSM 2018: Combined Otolaryngology Spring Meetings; 20180418-22; National Harbor, MD, USA.

Otsuki K, Imaizumi M, Muro S. Retinal detachment secondary to otitic hydrocephalus associated with acute otitis media in a child: A case report. 121st The Triological Society, COSM 2018: Combined Otolaryngology Spring Meetings; 20180418-22; National Harbor, MD, USA.

Matsuzuka T, Uemura H, Yoshimoto S, Miura K, Shiotani A, Sugawara M, Homma A, Yokoyama J, Tsukahara K, Yoshizaki T, Yatabe Y, Kobari T, Kosuda S, Muro S, Hasegawa Y. Attempting to define sentinel node micrometastasis in oral squamous cell carcinoma. ISNS 2018: International Sentinel Node Society Biennial Meeting. 20181011-13; Tokyo.

橋本千織, 松塚 崇, 鈴木政博, 仲江川雄太, 小林徹郎, 川瀬友貴, 鈴木俊彦, 室野重之. 症状の有無で比較した甲状腺乳頭癌の予後の検討. 第 28 回日本頭頸部外科学会; 20180125-26; 宇都宮. 予稿集. 136.

鈴木政博, 川瀬友貴, 小林徹郎, 仲江川雄太, 松塚 崇, 室野重之. 耳下腺腫瘍の細胞診、良性例及び鑑別困難例における迅速病理診断の有用性について. 第 28 回日本頭頸部外科学会; 20180125-26; 宇都宮. 予稿集. 164.

松塚 崇, 上村裕和, 吉本世一, 三浦弘規, 塩谷彰浩, 菅澤 正, 本間明宏, 横山純吉, 塚原清彰, 吉崎智一, 小針健大, 室野重之, 長谷川泰久. 口腔がんセンチネルリンパ節ナビゲーション頸部郭清術における微小転移の定義の試み. 第 28 回日本頭頸部外科学会; 20180125-26; 宇都宮. 予稿集. 180.

仲江川雄太, 西間木宏舞, 川瀬友貴, 多田靖宏, 室野重之. 声帯異形成として経過観察中に未分化多形肉腫を生じた 1 例. 第 28 回日本頭頸部外科学会; 20180125-26; 宇都宮. 予稿集. 227.

多田靖宏, 室野重之. 先行臨床研究における人工気管の長期成績. 「世界初の人工気管の製品化事業」成果報告会 (国立研究開発法人日本医療研究開発機構 医工連携事業化推進事業); 20180129; 京都.

今泉光雅, 鈴木俊彦, 室野重之. 福島県における嚥下診療に関する意識調査ー耳鼻咽喉科医を対象としたアンケート調査よりー. 第 41 回日本嚥下医学会; 20180209-10; 仙台. 抄録集. 84.

室野重之, 鈴木俊彦, 鈴木 亮, 今泉光雅, 吉崎智一. 皮膚筋炎における嚥下障害. 第 41 回日本嚥下医学会; 20180209-10; 仙台. 抄録集. 89.

川瀬友貴, 仲江川雄太, 鈴木 亮, 今泉光雅, 多田靖宏, 室野重之. クマに襲われ受傷した喉頭外傷の 1 例. 第 30 回日本喉頭科学会; 20180301-02; 高知. 予稿集. 103.

鹿野真人, 佐藤廣仁, 野本幸男, 高取 隆. 気管切開後の ALS 症例に対する輪状軟骨鉗徐の声門閉鎖術の検討. 第 30 回日本喉頭科学会; 20180301-02; 高知. 予稿集. 120.

佐藤廣仁, 鹿野真人, 野本幸男, 高取 隆. 輪状軟骨開窓術後の気管孔開存例の検討. 第 30 回日本喉頭科学会; 20180301-02; 高知. 予稿集. 121.

大槻好史. 当科における ANCA 関連血管炎性中耳炎症例の検討. 第 25 回福島県アレルギー研究会; 20180303; 福島.

清水雅子, 松見文晶, 鶴岡美果. 当院における小児 MRSA 中耳炎の検討. 第 129 回日本耳鼻咽喉科学会福島県地方部会学術講演会; 20180325; 福島. 抄録. 2.

小野美穂, 松塚 崇, 黒田令子, 室野重之. 耳管開放症疑い例に対するルゴールジェル注入療法. 第 129 回日本耳鼻咽喉科学会福島県地方部会学術講演会; 20180325; 福島. 抄録. 2.

鈴木聡明. 経年劣化により抜去時にドレーンチューブが破損した 1 症例. 第 129 回日本耳鼻咽喉科学会福島県地方部会学術講演会; 20180325; 福島. 抄録. 2.

西間木宏舞, 湯田孝之, 山辺 習. 鼻腔に発生した Seromucinous hamartoma の 1 例. 129 回日本耳鼻咽喉科学会福島県地方部会学術講演会; 20180325; 福島. 抄録. 2.

柳川明弘, 多田靖宏, 松井隆道, 大河内幸男. 鼻石を認めた 2 症例. 第 129 回日本耳鼻咽喉科学会福島県地方部

会学術講演会; 20180325; 福島. 抄録. 2.

橋本英樹, 尾股千里, 佐藤 聡, 三浦智広, 佐藤和則. 多数の石灰化物を伴った頬部小唾液腺唾石症の1例. 第129回日本耳鼻咽喉科学会福島県地方部会学術講演会; 20180325; 福島. 抄録. 3.

今泉光雅, 鈴木俊彦, 室野重之. 福島県における嚥下診療に関する意識調査—検査食を用いない嚥下内視鏡評価の提案—. 第129回日本耳鼻咽喉科学会福島県地方部会学術講演会; 20180325; 福島. 抄録. 3.

多田靖宏, 柳川明弘, 松井隆道, 大河内幸男. 外来手術としての局所麻酔下喉頭内視鏡手術. 第129回日本耳鼻咽喉科学会福島県地方部会学術講演会; 20180325; 福島. 抄録. 3.

大槻好史, 今泉光雅, 野本美香, 菊地大介, 室野重之. 急性中耳炎に続発し高度な Otitic hydrocephalus を呈したために網膜剥離を発症した小児例. 第2回福島県こどもの感染症研究会; 20180414; 福島.

川瀬友貴, 垣野内景, 鈴木政博, 室野重之. 右側に発生した下咽頭梨状窩瘻の一例. 第2回福島県こどもの感染症研究会; 20180414; 福島.

川瀬友貴, 仲江川雄太, 谷亜希子, 今泉光雅, 多田靖宏, 大森孝一. 当院における喉頭外傷例の臨床的検討. 第119回日本耳鼻咽喉科学会; 20180530-0602; 横浜. 日本耳鼻咽喉科学会会報. 120(4):575.

鹿野真人, 野本幸男. 甲状腺手術における神経同定・温存のための神経刺激装置の活用. 第42回日本頭頸部癌学会; 20180614-15; 東京. 頭頸部癌. 43(2):128.

鈴木政博, 川瀬友貴, 小林徹郎, 仲江川雄太, 松塚 崇, 室野重之. 頭頸部扁平上皮癌症例における患側V領域の予防郭清についての検討. 第42回日本頭頸部癌学会; 20180614-15; 東京. 頭頸部癌. 43(2):131.

野本幸男, 鹿野真人, 佐藤廣仁, 高取 隆. 胃切除後胃食道逆流症を有し、再建手術後に咽頭皮膚瘻を来した再発下咽頭癌の一症例. 第42回日本頭頸部癌学会; 20180614-15; 東京. 頭頸部癌. 43(2):199.

仲江川雄太, 鈴木政博, 川瀬友貴, 小林徹郎, 松塚 崇, 室野重之. 当科における再発転移頭頸部癌に対する Nivolumab 使用症例について. 第42回日本頭頸部癌学会; 20180614-15; 東京. 頭頸部癌. 43(2):211.

小林徹郎, 鈴木政博, 仲江川雄太, 川瀬友貴, 室野重之. 両側頸部リンパ節転移を伴った甲状腺管癌の1例. 第42回日本頭頸部癌学会; 20180614-15; 東京. 頭頸部癌. 43(2):235.

松見文晶, 野本幸男. 発症2週間以内に施行した顔面神経減荷術の検討. 第80回耳鼻咽喉科臨床学会; 20180629-30; 横浜. 耳鼻咽喉科臨床. (補153):89.

鈴木俊彦, 野本美香, 鈴木政博, 川瀬友貴, 垣野内景, 室野重之. 扁桃結核の1例. 第80回耳鼻咽喉科臨床学会; 20180629-30; 横浜. 耳鼻咽喉科臨床. (補153):103.

鹿野真人, 野本幸男, 尾股千里, 高取 隆. 後頸三角でのリンパ節摘出時の副神経損傷の検討. 第66回日本耳鼻咽喉科学会東北地方部会連合学術講演会; 20180721-22; 仙台. 抄録集. 29.

黒田令子, 垣野内景, 小野美穂, 松塚 崇, 室野重之. 入院時にめまいの訴えがあった症例の臨床的検討. 第 66 回日本耳鼻咽喉科学会東北地方部会連合学術講演会; 20180721-22; 仙台. 抄録集. 39.

斎藤友紀子, 仲江川雄太, 川瀬友貴, 小林徹郎, 鈴木政博, 室野重之. 耳下腺切除術にて止血に難渋した神経線維腫症の一例. 第 66 回日本耳鼻咽喉科学会東北地方部会連合学術講演会; 20180721-22; 仙台. 抄録集. 40.

佐藤廣仁, 野本美香, 鈴木 亮, 鈴木俊彦, 垣野内景, 室野重之. 鼻中隔に発生した多形腺腫の 1 例. 第 66 回日本耳鼻咽喉科学会東北地方部会連合学術講演会; 20180721-22; 仙台. 抄録集. 42.

松見文晶. 慢性穿孔性中耳炎・鼓膜穿孔に対する薄切軟骨を用いた鼓膜・鼓室形成術の検討. 第 26 回福島県耳鼻咽喉科臨床懇話会; 20180901; 郡山.

大槻好史. 鼓膜穿孔に対する術前評価基準作成の試み: スコア評価基準の客観性および有用性の検討. 第 26 回福島県耳鼻咽喉科臨床懇話会; 20180901; 郡山.

室野重之, 垣野内景, 吉崎智一. 喉頭乳頭腫におけるうがい液中 HPV DNA 検出. 第 6 回日本耳鼻咽喉科感染症・エアロゾル学会; 20180907-08; 金沢. 日本耳鼻咽喉科感染症・エアロゾル学会会誌. 6(3):48.

仲江川雄太, 小林徹郎, 室野重之. 治療に難渋する p16 陽性中咽頭癌に対する Nivolumab 使用経験について. 第 31 回日本口腔・咽頭科学会; 20180913-14; 名古屋. 口腔・咽頭科. 31(3):354.

佐藤廣仁, 野本美香, 鈴木 亮, 鈴木俊彦, 垣野内景, 鹿野真人, 野本幸男, 室野重之. 術中超音波検査を用いた鼻骨骨折整復術前. 第 57 回日本鼻科学会; 20180927-29; 旭川. 日本鼻科学会会誌. 57(3):292.

野本美香, 鈴木 亮, 鈴木俊彦, 佐藤廣仁, 垣野内景, 室野重之. 音響鼻腔計測検査および鼻腔通気度検査を用いた Septorhinoplasty の評価. 第 57 回日本鼻科学会; 20180927-29; 旭川. 日本鼻科学会会誌. 57(3):322.

鈴木俊彦, 野本美香, 鈴木 亮, 佐藤廣仁, 多田靖宏, 室野重之. 骨髓異形成症候群(MDS)による血小板減少を合併した上顎血腫の 1 例. 第 57 回日本鼻科学会; 20180927-29; 旭川. 日本鼻科学会会誌. 57(3):337.

鈴木 亮, 野本美香, 佐藤廣仁, 鈴木俊彦, 室野重之. 鼻腔に発生した多形腺腫の 2 例. 第 57 回日本鼻科学会; 20180927-29; 旭川. 日本鼻科学会会誌. 57(3):365.

大槻好史, 今泉光雅, 菊地大介, 室野重之. 鼓膜穿孔に対する術前評価基準作成の試み: スコア評価基準の客観性および有用性の検討. 第 28 回日本耳科学会; 20181004-06; 大阪. Otology Japan. 28(4):283.

今泉光雅, 大槻好史, 菊地大介, 室野重之. 聴性脳幹インプラント埋め込み術: 術後 1 年の経過について. 第 28 回日本耳科学会; 20181004-06; 大阪. Otology Japan. 28(4):304.

松見文晶. 外耳道前壁再建手術を施行した顎関節ヘルニア例. 第 28 回日本耳科学会; 20181004-06; 大阪. Otology Japan. 28(4):558.

川瀬友貴, 仲江川雄太, 今泉光雅, 室野重之. 嚥下障害を合併した動物による喉頭外傷の 1 例. 第 63 回日本音声言語医学会; 20181011-12; 久留米. 予稿集. 87.

今泉光雅, 室野重之. 軟性喉頭ファイバースコープ検査時の鼻腔麻酔に関する意識調査—福島県におけるアンケート調査より—. 第 63 回日本音声言語医学会; 20181011-12; 久留米; 予稿集. 92.

川瀬友貴, 小林徹郎, 仲江川雄太, 鈴木政博, 松塚 崇, 室野重之. 福島県立医科大学における中咽頭癌症例の臨床的検討. 第 24 回日本頭頸部癌治療研究会; 20181013; 仙台. 抄録集. 10.

菊地大介, 今泉光雅, 大槻好史, 室野重之. 残存聴力活用型人工内耳が有用であった CDH23 遺伝子変異の 1 例. 第 63 回日本聴覚医学会; 20181017-19; 神戸. AUDIOLOGY JAPAN. 61(5):377.

鈴木雪恵, 鈴木輝久, 今泉光雅, 馬場陽子, 山田奈保子, 原田 綾, 黒田令子, 大槻好正, 菊地大介, 小川洋. 当センターにおける新生児聴覚スクリーニング 13 年間の調査 (原因因子と合併症). 第 63 回日本聴覚医学会; 20181017-19; 神戸. AUDIOLOGY JAPAN. 61(5):416.

今泉光雅. 医療者からの報告. 平成 30 年度第 1 回合同研究班会議 (厚生労働科学研究費 難治性疾患政策研究事業 先天性および若年性の視覚聴覚二重障害に対する一体的診療体制に関する研究、日本医療研究開発機構 (AMED) 難治性疾患実用化研究事業 先天性および若年性の視覚聴覚二重障害の原因となる難病の診療向上に向けた、疾患横断的な全国多施設レジストリ研究); 20181125; 東京.

今泉光雅, 大槻好史, 菊地大介, 室野重之. 耳科疾患に対する治療・研究: 新たな取り組みについて. 第 131 回日本耳鼻咽喉科学会福島県地方部会学術講演会; 20181202; 福島. 抄録. 2.

大槻好史, 菊地大介, 菅野和広, 柳沼里英, 馬場陽子, 今泉光雅, 室野重之. 当科における耳鳴・補聴器外来の現況. 第 131 回日本耳鼻咽喉科学会福島県地方部会学術講演会; 20181202; 福島. 抄録. 2.

尾股千里, 野本幸男, 鹿野真人, 高取 隆. 当科で経験した小児の頸部膿瘍の検討. 第 131 回日本耳鼻咽喉科学会福島県地方部会学術講演会; 20181202; 福島. 抄録. 3.

鈴木雪恵, 今泉光雅, 鈴木輝久, 鹿野真人. 福島県総合療育センターにおける嚥下調整食の開発・調整への取り組み. 第 131 回日本耳鼻咽喉科学会福島県地方部会学術講演会; 20181202; 福島. 抄録. 3.

鈴木康士, 大谷 巖. 頸部転移の急激な増大に対しチラージン増量のみで縮小を認めた甲状腺癌例. 第 131 回日本耳鼻咽喉科学会福島県地方部会学術講演会; 20181202; 福島. 抄録. 3.

橋本英樹, 中村宏舞, 佐藤 聡, 三浦智広, 佐藤和則. 止血に難渋し、後に G-CSF 産生中咽頭癌と判明した 1 例. 131 回日本耳鼻咽喉科学会福島県地方部会学術講演会; 20181202; 福島. 抄録. 3.

## 〔シンポジウム〕

仲江川雄太, 三浦智広, 間多祐輔, 瀬戸一郎. <パネルディスカッション>扁平上皮癌 CRT 後の切除不能例に対する治療戦略について. FUKUSHIMA Head & Neck Cancer Meeting; 20180511; 郡山.

室野重之. <パネルディスカッション 3 乳頭腫ウイルスをめぐる諸問題>喉頭乳頭腫をめぐる諸問題. 第 119 回日本耳鼻咽喉科学会; 20180531-0602; 横浜. 日本耳鼻咽喉科学会会報. 121(4):403.



多田靖宏. <パネルディスカッション 4 短期滞在手術・外来手術の工夫と問題点>局所麻酔下に行う喉頭手術－日帰り手術－. 第 119 回日本耳鼻咽喉科学会; 20180531-0602; 横浜. 日本耳鼻咽喉科学会会報. 121(4):411.

古川孝俊, 今泉光雅, 高田雄介, 高橋邦行, 佐藤輝幸. <パネルディスカッション 1>乳突開放型乳突削開術後の処置とフォローアップ. 第 4 回東北耳科研究会; 20180825; 仙台.

吉崎智一, 塩谷彰浩, 松塚 崇, 脇坂尚宏, 吉本世一, 本間明宏, 横山純吉, 近松一朗, 上村裕和, 三浦弘規, 菅澤 正, 鈴木幹男, 北村守夫, 篠崎 剛, 塚原清彰, 小須田茂, 尾瀬 功, 村上善子, 甲野直幸, 長谷川泰久. <多施設共同研究進捗状況>頭頸部癌センチネルリンパ節生検術臨床試験. 第 20 回 SNNS 研究会学術集会; 20181010-11; 東京. 抄録集. 43.

小針健大, 松塚 崇, 鈴木政博, 川瀬友貴, 横山秀二, 小川 洋, 室野重之. <ミニシンポジウム 10 口腔>口腔がんセンチネルリンパ節ナビゲーション頸部郭清術における微小転移の定義の試みー福島県立医科大学での研究についてー. 第 20 回 SNNS 研究会学術集会; 20181010-11; 東京. 抄録集. 77.

松塚 崇, 上村裕和, 吉本世一, 三浦弘規, 塩谷彰浩, 菅澤 正, 本間明宏, 横山純吉, 塚原清彰, 吉崎智一, 谷田部恭, 小針健大, 小須田茂, 室野重之, 長谷川泰久. <ミニシンポジウム 10 口腔>口腔癌に対するセンチネルリンパ節ナビゲーション頸部郭清術における転移巣の大きさの検討. 第 20 回 SNNS 研究会学術集会; 20181010-11; 東京. 抄録集. 77.

#### 〔特別講演〕

室野重之. <講習 II (耳鼻咽喉科領域講習)>ウイルス学的アプローチによる耳鼻咽喉科領域の腫瘍. 第 25 回東海耳鼻咽喉科生体防御研究会; 20180106; 名古屋.

室野重之. <耳鼻咽喉科領域講習>ウイルスからみた耳鼻咽喉科の腫瘍. 第 42 回滋賀県耳鼻咽喉科オープンセミナー; 20180215; 草津.

松塚 崇. 「耳鼻咽喉科内視鏡感染制御の手引き」とその除菌効果. 第 33 回京都耳鼻咽喉科研究会; 20181208; 京都.

#### 〔招待講演〕

Murono S. <International Conference Session I: Keynote Speakers>Diagnostic pitfall and management of NPC in non-endemic Area, Japan. 1st International Conference of Nasopharyngeal Carcinoma(ICONPC) 2018; 20181206; Sumatera, Indonesia.

室野重之. <手術手技セミナー>喉頭乳頭腫. 第 28 回日本頭頸部外科学会; 20180125-26; 宇都宮. 予稿集. 82.

松塚 崇. <グループ演習>全人的苦痛に対する緩和ケア. 太田西ノ内病院平成 30 年度がん診療医師緩和ケア研修会; 20180126; 郡山.

佐藤廣仁. <指定講演>福島市におけるスギ花粉飛散予測の試み. 第 26 回福島県耳鼻咽喉科臨床懇話会;

20180901; 郡山.

鈴木聡明. <日本耳科学会教育セッション「ヒト側頭骨組織標本から学ぶ」―側頭骨組織病理研究教育ワーキンググループ報告―>正常側頭骨解剖の基礎知識. 第28回日本耳科学会; 20181004-06; 大阪.

垣野内景, 吉江 進, 挟間章博, 室野重之. <Research Forum III>上皮間葉移行におけるクロライドチャネルの役割. 第66回日本耳鼻咽喉科学会東北地方部会連合学術講演会; 20180721-22; 仙台. 抄録集. 21.

室野重之. 一般医師が知っておくべき耳鼻咽喉科疾患について. 福島県立医科大学光が丘協議会事業 南相馬市立総合病院ステップアップセミナー; 20180926; 南相馬.

室野重之. ウイルスと腫瘍について. 福島県立医科大学光が丘協議会事業 会津中央病院ステップアップセミナー; 20181113; 会津若松.

## 過年業績

今泉光雅. <講演3>福島県における人工内耳医療の歩み. 第43回全国身体障害者福祉医療講習会; 20170617-18; 福島. テキスト. 14-19.

## 〔その他〕

菊地大介. お子様の難聴について. ラジオ福島 お母さん教室～ラジオドクター; 20180316; 福島.

鈴木聡明. <インタラクティブ・レクチャー>側頭骨組織インタラクティブ・レクチャー. 第28回日本耳科学会; 20181004-06; 大阪.

# 神経精神医学講座

## 論 文

## 〔原 著〕

Kobayashi R, Hayashi H, Kawakatsu S, Ishiki A, Okamura N, Arai H, Otani K. <sup>18</sup>FTHK-5351 PET imaging in early-stage semantic variant primary progressive aphasia: a report of two cases and a literature review. BMC Neurology. 2018; 18(1):109.

Nakano H, Ohira T, Maeda M, Yabe H, Ohtsuru A, Suzuki Y, Harigane M, Horikoshi N, Nagai M, Zhang W, Takahashi H, Yasumura S, Iso H, Kamiya K; Fukushima Health Management Survey Group. Associations of disaster-related and psychosocial factors with changes in smoking status after a disaster: a cross-sectional survey after the Great East Japan Earthquake. BMJ Open. 201806; 8(6):e018943.